

憲法一条の会 NEWS LETTER

一条の会
NEWS LETTER
101号 H27-10-20

発行

憲法一条の会
代表 小野 馨子

http://1-jo.info/index.html

【編集責任者】

MASUKI 情報デスク

増木 直美

大阪府豊中市上新田2-6-25-113

TEL 090-3710-4815

FAX 06-6835-0974

http://mid.parfe.jp/

mid@jewel.ocn.ne.jp

「憲法一条の会」、何とかスタートしました。

一条の会 代表 小野馨子

「大リーグ・ヤンキースのイチローが靖国神社を参拝する」

こんなタイトルのニュース記事がある日、私が参加している保守系 ML に投稿されました。

【12月25日 JPN1】
大リーグ・ヤンキースのイチローが靖国神社を参拝することが、判明した。

現在イチローは兵庫県・神戸市で自主トシ中だが、数日後に東京へ向かい靖国神社を参拝する。

イチローは以前から周囲に「祖国のために戦った先人に、日本人として感謝を捧げたい」と話しており、長年の思いが実現する形だ。またイチローは玉串料として数千円を靖国神社へ寄付する意向だ。「この記事を紹介したのは埼玉在住の女性活動家で、感動した他メンバーも「嬉しいニュースですね」「少年ファンを含め好影響だ」とコメントを寄せていました。

ニュース記事は毎日膨大に送られてくるので、それに対する感想等を返信することは殆どない。しかし今回は、あま

たかとうんざりし「飛ばし記事とも呼ばない全くのガセネタです。注意して下さい」とそれらの賛同コメントに返信する形で注意を喚起しました。

フォーマットも一見普通のオンラインニュースに見えるこの記事は、

「Japan Patriots News」という、ニュースサイトを名乗るブログに掲載されたもので、私が初めて見かけたのは配信された日と同日のツイッターへの投稿でした。

「イチローが靖国神社参拝」というニュースはこのサイトのみが出所で、試しに Google で検索してみても「靖国神社」「イチロー選手」という、大手新聞の一面記事になってもおかしくないキーワードであるにも関わらず、どこもメディアも報じていませんでした。しかも、ツイッターでは「ガセネタに注意」と盛んに拡散されていたのです。

改めてこのサイト「JPN」の最新記事に目を通すと、真贋は不明ではあるが一見信憑性の高いもの、あるいは既に大手で報道されたニュースの見出しが並ぶなか、「在特会会員の平均年収は1.9億万円」などといった冗談のような見出しが混在していました。実際起こった話に関しては他の大手新聞社の記事の盗用が指摘されており、この悪質なコピーを画像や文章の比較によって指摘するサイトもありました。

まがりなりにも、ニュースサイトを名乗るからには内容の正確性が命のはずです。一つでもデマ記事があれば、そこで読者は離れて行きます。この「JPN」のデザインは非常にシンプルで、記事も非常に短く2、3行のものも多い。また、明らかに素人が書いたような文章で綴られているものが散見されました。クオリティはともかく、「保守派です」とか「私は右翼ではありません、どこにでもいる普通の日本人!」と SNS 上で名乗るタイプの人々がちょっと嬉しくなるようなストーリーや主張を集めたブログといったらよいでしょうか。エンターテインメント性のある「自称ニュースサイト」としては「虚構新聞」

(<http://kyoko-net/>) というサイトもありますが、こちらは「社会・スポーツ・政治・経済などのジャンル別にパロディ記事を掲載」と紹介文を載せた、クソツと笑ってしまうような内容満載のサイトで、自らお笑いサイトであると表明しているのです。しかし「JPN」の場合、「これはメディアが意図的に報道しなかった情報の隠し部屋だな」と都合良く解釈したのか、ツイッターや ML での反応を見ると騙されているユーザーが少なくなく、デマを配信して混乱を招くことが目的であるようにも見受けられました。

今回の ML においては「イチロー靖国神社参拝」については私の指摘を受け、騙されないよう注意を促す賛同コメントが数件寄せられ、一件落着いたのですが、もとの投稿者からの謝罪はありませんでした。只のブログをあたかも、ニュースサイトの一つであるように作り上げ、わざわざデマを発信するという行為の意図は一体何なのだろう、そう私は考え込まずにいられませんでした。

私が前述の保守系 ML に参加したのは約5年前で、ニュース記事の配信や活動の告知、アドバイスを求めるものや政策

への個人的感想が主な内容です。参加者がこの ML に投稿した内容は全員に送信され、返信も参加者全員に公開となります。常に複数の議論が同時進行になり、あるテーマを追っていくにはそのタイトルに「Re」のついた記事を追いかける必要があります。意見交換がヒートアップし、当人同士の議論では収まらず、外野から参戦、結果として数日、数ヶ月にわたる論争に発展することがよくあります。ちょうど3年前になりましたが、この ML 上で起こった論争でとりわけ重要で、私にとっても印象的なものがありました。発端は、あるメンバーによる皇太子妃殿下についての個人的な感想で、2008年から数回にわたり「WME」誌上において西尾幹二氏が皇太子妃殿下について寄稿した『廃太子論』『離婚提言』についての他メンバーの投稿に賛同する返信でした。

彼女は「私は西尾先生の主張に同意する」と表明し、「東宮妃殿下の悪影響を懸念している。皇室の将来が心配だ。」と付け加えていました。彼女に賛同する者がある一方、「皇太子殿下、皇太子妃殿下を批判することで将来何が起こるか冷静に考えてみるべきだ」と、やや熱くなっている批判派を諷めるコメントも投稿されました。東宮妃殿下の話題はお互いが一通りの意見を表明した後、一旦収束となりました。ところが約一ヶ月後、同じ投稿者が重要情報だと称してある情報を引っかけ、再び、この話題を取り上げたのです。この時は全く予想していなかったが論争は結果として半年以上に及びました。投稿内容は記事のコピーと彼女の感想文で構成されており、ほぼ全てが皇太子妃殿下殿下批判でした。記事の出典は2つのブログで、「BBBの覚醒記録☆政治を初心者にもわかりやすくがコンセプトです。無知から来る親中親韓から離脱、日本人としての目覚めの記録」

(http://blog.goo.ne.jp/inorbito_001/)、

(以下は「BB」記載) もう一つは「雅子妃・徳仁皇太子・愛子内親王の現状は、第二の女系天皇問題」:「反日」の姿勢を明確にしてきた平成皇太子一家

【ivedoor 本局局】
(http://blog.ivedoor.jp/bluefox_hispeed/) (以下は「Bluefox」記載)

「この方は皇室の未来を本当に心配なさっていると思います。皆様どうか「雅子様」でネット検索して下さい。」とブログを紹介、連日記事を抜粋し配信した。筆者もリンク先を確認したが、

「本当に皇室を敬愛する人物が、嬉々としてこんな記事を掲載するだろうか」と疑問を感じざるをえませんでした。畏れ多いことに皇族の方々の画像を多く使用し、皇太子同妃両殿下のご肖像に大きく、バツ印が書かれていたものが入り、その時はまるで、血液が濁っていくような気持ちの悪さを感じました。使用されている写真はどれも、とりわけ皇太子妃殿下の印象を悪くするような配置、加工が施されており、例えば般若の面と皇太子妃殿下のご肖像を並べたり、動画を一時停止させて眼が半開きになった瞬間を切り取った物等が多く見られました。

他の ML メンバーからも、「もし天皇陛下がこんな写真をご覧になったらどれほど悲しまれるだろうか。皇室を思うところならそれくらい考えてみよ」と、訝しみ注意を促す投稿が相次ぐ。投稿した本人は面喰らった様子で、率直に「大反論に戸惑いを感じます。」と感想を述べていました。彼女の初の投稿は 2012 年 2 月で、それからは前述のブログが更新される毎に情報を即転載、配信するようになった。

次第に文中で「BB 様」「Bluefox 様」と「様」づけするようになり、尊敬するブログ主の「提言」を広める使命感に燃えているようでもありました。どう見てもサヨクの工作員のブログに違いない、目を覚ませと猛反発するメンバーの指摘を全く意に介さないどころか最初は「雅子殿下のご病気が心配だ」という内容だったのがいつの間にか変質し、「雅子殿下は反日勢力の工作員」「雅子殿下は創価学会と関わりがある」という主張になってきたのです。それら記事を真に受けたのか、ユニークな自説を披露するメンバーも現れました。

「愛子様は左利きだぞうだ。利き手には夫婦間の陰陽逆転の法則が表れるというのを皆さんご存知か。何を言いたいかというと、女性が「陰」ではなく「陽」の立場にあるときは左利きの子が生まれるということだ。愛子様の手は、雅子様が皇太子殿下をさしおき、すべてを仕切っているという東宮の異常性を表している。」

当然反発する方もヒートアップし時には人格攻撃、罵り合いの様相を呈してきました。配信された内容を紹介しますと例えば、「反日韓国が皇太子妃雅子殿下の銅像をオアフ島の国立朝鮮戦争記念館に建てている」という情報があります (Bluefox 削除後のリンク先は <http://ameblo.jp/dont110/entry-11047053378.html>)。しかし、指摘された URL (KoreanWar National Museum) はスプリングフィールドあり、画像にある像は朝鮮戦争史家の Steve Spoke 氏の私設の記念館(2004 年閉鎖)所蔵で、雅子殿下を模したとも断定し難い。他には李承晩と盧武鉉が一緒に国旗を掲げる像も展示されており、話題にするほどの施設ではないように思われま

した。他には「ブラジルでカルト創価学会祝賀行事に出席し、祝辞まで述べた徳仁皇太子。もはや神道の祭司長である天皇の位を継承する資格はない」という見出しの記事がありました。これも、日系移民 100 周年記念を祝うパラナ州知事主催の昼食会に皇太子殿下が参加されたのを「ブラジルでの創価学会の祝賀行事」とわざわざねづ造して広めているありさまです。また、利き手についても、ユニークな動画で確認すると愛子内親王殿下は右手でペンを持ち、チェロを演奏される時も右手で弓を操っていらっしやいました。こうしたものは、ほんの一部なのですが、他のメンバーがこのように実相を調べ上げ、誤認、悪質な捏造だと突きつけた彼女も関わらず、ブログ主の信奉者と化した彼女の内容に変化はなく「私に質問があってもお答えしません」とさえ宣言していたのです。ブログ主を、皇室の将来を憂う博学な素晴らしい人物だと考えている彼女には申し訳ないのですが、ブログというものは複数人で執筆も可能であり、チームを形成し協力してコメント欄を埋めることでの誘導や印象操作も容易なのです。

私が現在利用している SNS はフェイスブック、ツイッターそしてこの保守派 ML です。周囲では特にフェイスブックを「無料で出せる広告」として大いに利用している個人事業主が多い。私の SNS 利用のきっかけは政治活動と大いに関係があり、7 年程前は SNS や政治系ブログのコメント欄を活動計画に利用してました。法案についての意見を効果的に政治家に届ける方法やデモ行進の企画・参加など、ネット上の交流で学んだことは数多くあります。一般人には投票すること以外縁がないと思っていた「政治に手が届く」こと、純粹に感動を覚えました。日本では人前で政治の話は憚られるという反動からか、匿名 SNS での政治談議は非常に活発です。【以下、次号に続く】

中国新華社の不敬発言、マスコミの慢性不敬発言に公開質問状

中国領事館への抗議文

平成 27 年 8 月 25 日、中国国営新華社通信は、「昭和天皇が侵略戦争の張本人だった」と主張し皇位を継承した天皇陛下が謝罪すべきとする記事を配信しました。

今まで中国の日本バッシングはこれでもかこれでもかと山ほどありますが、皇室に対しての直接バッシングは記憶にありません。ついに、タブーを破った感があります。

皇室への不敬を許さないことを活動目的とする弊会として、看過できるわけがなく、早速中国領事館に抗議した

抗議文

中華人民共和国駐大阪総領事館 総領事 閣下 閣
平成 27 年 6 月 3 日
憲法一条の会 代表 小野馨子

閣下におかれましては、日々、日中友好にご尽力いただき、先ずは感謝申し上げます。

私達は、皇室に対する不敬を糺し、国家に対する愛国心を育むことを目的とした市民団体、憲法一条の会と申します。さて、先月(8月)25日、新華社通信は、「昭和天皇が侵略戦争の張本人だった」と主張し皇位を継承した天皇陛下が謝罪すべきとする記事を配信しました。

朝日新聞へ公開質問状

私たちは天皇陛下に対する愚弄であり、
しては私たち日本国民に対する愚弄で
あると考え、強く抗議します。私達、ほ
とんどの日本国民は陛下に対し、信頼
尊敬の念を持ち、陛下と国家国民は一体
のものであると考えるからです。

貴国は昔は王朝がありました。しかし
今は共和政です。私達は2000年もの君
主制で陛下に対する気持ちは特別なもの
があります。日中友好が重要であること
は重々承知しておりますが、tenno陛下
下に対する侮辱は絶対許すことができな
いのです。

貴国は陛下に「謝罪せよ」とのこと
ですが、どこにその根拠があるか理解でき
ません。

1972年、我が国の(当時の)田中角
栄総理と周恩来総理が発した共同声明で、
田中首相は「深く反省の意を表する」と
いう表現と「不正常な状態の終結」とい
う表現を使いすべてが終わったわけです。
今回の要求は、この時周恩来総理が語
られた「小異を残して大同を求めること」
にも反すると思います。

日中共同声明で田中首相は謝罪してい
ますが、そもそも日本国が貴国に対しな
ぜ謝罪しなければならないのか疑問です。
日本が戦争したのは蒋介石(中華民国)
であり、毛沢東率いる中共(中華人民共
和国)ではありません。論より証拠に国
連の常任理事国(戦勝国)は本来中華民
国であり中華人民共和国ではありません。

今後このような誤ったメッセージを出
さないようしっかり新華社を監督してい
ただきたいと抗議と共に要望いたします。

閣下におかれては、本国の担当者に私
たちの意を伝えていただきたく、お願い
申し上げます。

特に朝日が悪いというわけではなく、
読売にしろ毎日にも同じだが(産経は
多少まし)、マスコミの不敬発言は目に
余る。もちろん昨日今日に始まった話で
はなく、慢性的なもの。定期的に抗議が
必要。今回は「公開質問状」という形式
をとった。

8月22日付第1回質問状送付

「謹啓 先ずは、突然公開質問状を差し
上げます無礼をお許しください。
私は関西で「憲法一条の会」という団体
を主催しております。

活動趣旨は「皇室への不敬を許さない」
という国民の声をアピールし、同時に憲
法一条に関する議論をおおいに盛り上げ
ることで、改めて世間に皇室の尊さを広
く啓蒙するというものです。

昨今は一般人による不敬表現、とりわ
け皇后陛下や皇太子妃雅子殿下への誹謗
中傷が以前にもましてひどく、これは着
過できないと考えています。

これに関連し、日頃、貴社の新聞及び
インターネットにおける、日本語の使用
について気になっておりペンを取りまし
た。皇室についての記事で、貴社は特に
皇室の方々を本来の「殿下」という敬称
でなく「さま」でお呼びしています。

私達はこれに非常に違和感を覚えます。
また、天皇「さま」とはお呼びしないの
に「皇后さま」「皇太子さま」「雅子さ
ま」等様付けする方としない方がありま
すが、これは何らかの日本語の基準に則
ったものなのでしょうか。

貴社はそのような基準、ルールに基づ
いて敬称を使用されているのか、ご回答
を頂きたいとお願い申し上げます。

尚、十日以内に、返信用の切手を同封
しておりますので、書面にて郵送して頂
きますよう御願ひ申し上げます。」

8月22日付第1回回答

「朝日新聞宮内庁担当宛の8月22日付の
お手紙をいただきました。読者の皆様の
お問い合わせ窓口である「お客様オフィス」
からご回答いたします。紙面での皇室報
道での言葉遣いについてのお尋ねですが、
弊社では、皇室に対する敬意を踏まえつ
つ、過剰な敬語を使用することは国民と
皇室との間の親近感を失わせ、かえって
皇室を国民から遠ざけてしまいかねない
との懸念から、敬語の使用が過剰になら
ず、かつ礼を失しないよう調和を考えな
がら改善を重ねてきました。この基本的
な考えに沿って、敬称は従来通り『陛下』
『さま』『ご夫妻』などの形で使う、な
どの基本的なルールを設け運用していま
す。ただ、いずれも、絶えず時代の変化
に合わせて見直しを行っており、読者の
皆様のご意見などを参考にさせて頂いて
います。今後共朝日新聞をご愛読賜り
ますようお願い致します。」

9月6日付第2回質問状送付

先日、公開質問状にて皇室の方々に対
する尊称についてお伺いしましたが
それに対する貴社の答えは「敬意を踏ま
えつつ、過剰な『敬語』は国民との間の
親近感を失わせ、皇室を国民から遠ざけ
ることになるので『さま』等という敬称
を使用している」というものでした。し
かしながら、皇族に対する尊称は皇室典
範で定められているので単なる『敬語』
の問題ではありません。ですので、尊称
をつけることは、敬語との整合性がとれ
るとかたれないとかの話ではないのです。

貴社は、憲法を守るということを紙面
で日々発信されていますが、現状は皇室
典範は日本国憲法の内に存在してありま
す。朝日新聞社は皇室典範については
独自の解釈をされているように見受けら
れますが、皇室典範を順守する必要性に
ついての、貴社のお考えをお伺いできれ
ば幸いです。

9月16日付第2回回答

紙面での敬称、敬語については前回の
答えしたとおりです。ご見解に関しては
承りました。

9月24日付第3回質問状送付

「皇室に対する敬意を踏まえつつ、過剰
な敬語を使用することは国民と皇室との
間の親近感を失わせ、かえって皇室を国
から遠ざけてしまいかねないとの懸念か
ら、敬語の使用が過剰にならず、かつ礼
を失しないよう調和を考えながら使用し
ている」とご回答頂きました。ありがと
うございました。

確認させていただきたいのですが、朝
日新聞が言う「過剰な敬語」とは、誰が
判断するのでしょうか。

天皇及び皇族の敬称は日本国憲法の中
の皇室典範の第23条で定められていま
す。書面にて

- 1、朝日新聞が言う「過剰な敬語」とは
誰が判断するのか
- 2、朝日新聞は法令遵守(コンプライア
ンス)をどのように考えるのか、
これら2点についての「回答を頂きたい
と思います。

10月10日現在

回答待ち

弊一条の会副代表 活動報告 (杉田謙一)

ブログ「草莽の記」より 2015.09.21
<http://plazarakuten.co.jp/seimeisugita/>

2015.10.15 地久節には国旗掲揚を

十月二十日は皇后陛下のお誕生日。昨年のこの日、皇居に赴いたさい、護衛所に国旗が掲揚されていなかったのは、是非掲揚をとお願ひしました。警察官に言っても決定権がないとの事で、上記話してくださいと御願ひしておきましたが、心配です。今日郵送で以下の文面で御願ひしました。明日直接陳情に上がる予定です。

皇警察各護衛署等における 皇后陛下お誕生日祝賀の国旗掲揚を 要望いたします。

貴皇宮警察は、「天皇皇后両陛下や皇族各殿下の護衛と皇居、御所、御用邸などの警備を専門に行う警察」との自負をお持ちになる国家機関であり、皇宮警察を一元とし、昭和二十九年、新警察法制定に伴い警察庁の附属機関「皇宮警察本部」と改称されてからも皇室守護を目的とし、皇宮警察以来の大きな使命と伝統をお持ちであります。

ります。

さて、来る十月二十日は皇后陛下のお誕生日であり、国民挙って祝賀の意を表すべき日と思えます。貴警察におかれましては、皇室守護の象徴的な日の一つが皇后陛下のお誕生日であると申せましよう。学校関係におきましても祝日以外に入学式や卒業式ほか、他の記念すべき日にはほとんどの学校にて国旗を掲揚して生徒や保護者への祝意を表しております。貴警察に於かれましては、祝日ならずとも国旗掲揚を成すべき重要な日であると申せましよう。

皇后陛下のお誕生日といふこのよき日を迎えるに当たり、皇室守護を責務とされる貴警察各護衛署等に於かれましては、ぜひとも国旗を掲揚して国民を代表して祝意を表していただきたく、心より願ひものであります。

ぜひともご高配いただきたく御願ひ申し上げます。
平成二十七年十月十六日
杉田謙一

皇宮警察本部 本部長殿 2015.10.13 国旗降納ほか

昨夜、国旗降納を成す。おろし終わって今朝の二時に帰宅し、国旗の修繕を成す。皇太子の岐阜県奉迎は県が用意された小旗は二万枚。しかしとても足りなかつたようである。はじめはその二万本全て、用立てるように岐阜市議S氏より頼まれたがとても追いつかず五千本だけを担った。今後の作成は会員に割り振って計画的に進めたいとする。とあります。新たに五千本の柄を発注。あさつてには到着。家庭用の国旗も、あす、あさつてには100セット注文の残りを配送してもらえとの連絡が入る。

今回の掲揚は祝日では無いですが、十

月二十日地久節、美智子皇后陛下のお誕生日。この日も為ろうことなら市内全ての街路灯に掲げたいものだが。

昨年はこの日、わたしは東京におり、皇居に向き宮城警備の警官にこたけは掲揚するようにと二交番に頼んだが無理であった。今年は事前に出向き頼んでくるつもりであります。東京にお住まいの方にも是非声を上げて戴きたいものです。

2015.10.12 体育の日おめでとうです。国旗掲揚を

体育の日おめでとうございます。昨晩より岡崎市内約五百本の国旗を掲揚、先ほど会社・自宅・公民館・氏神さまに掲揚してきました。

愛知県内ではおよそ1300本が友の手によって掲揚されています。名古屋の市バスには全て小旗が掲揚され祝日を祝ってくださっています。

2015.10.02 皇族の奉迎のあり方を識者に問う

.....

本日午前7時より国旗整理と作成。午前十時半、友四名と出かけ、豊田市の前議長自民クラブ会長杉浦弘高市議にお会いし、国旗掲揚運動につき陳情する。皆さんのみえる前に掲揚塔の国旗のあげ直しを市職員にしていた。国旗が下げて掲揚してあったため。取り付けが甘く、滑り落ちていたのではずして修繕してもらおう。職員が出動しているわけで、気づかないわけではなからうに。細かく言わねば直らないのが残念である。前議長は実に頼もしく、襟には日章旗バッチがついている。聞けば何十個と求められたり市議の皆さんや知人に配布されたのだ

そつた。

自己紹介の後、奉迎報告や街路灯草国旗掲揚の活動の報告、建国や各種御衣氏につき、お話しする。豊橋市内にて僕らがないし続けている様々なことを報告する。大いに共鳴くださったり貴重な会合となった。憲法論議になり、猪俣先生が提起された、憲法条文の「詔勅の廃止」の文面の非道には皆大いに賛同。建国祭や、豊田浄心の草薙特攻隊慰霊祭などにつき大いに語る。市内官庁諸施設に、祝祭日国旗掲揚の部長取り決めが守られていなかった事実をお話しすると、早急に実態の確認をしてくださることになったのはありがたい。憲法一条の会の話をするに賛同いただいたので早速入会の申込書をお書きいただいた。他に数人の議員の入会を薦めてくださることにうれしき結果。ついで記者クラブに周り、同趣旨を語る。今一度、皇室感謝のあり方・奉迎のすがたに日本人全てが心を致すべきだと痛感をしている。保守思想界を担う各種団体の皆さんや、市町村・諸企業などには是非奉迎のあり方に思いを固めて戴きたいと痛感した両日でありました。

活動資金の協力をお願い

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、日本の将来、子供達に輝く未来を約束するため、なによりも皇室を大事に思う運動を展開する任意団体です。ところが問題は活動資金。特別なスポンサーなどはなく寄付で賄っています。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

○ 寄附(カンパ金)の主な使途

- ・ 活動の為の資料作成費・発送費
- ・ 交通費・通信費・備品購入費等

◇ 同封の郵便振替にてご協力ください。